φ 60 KP 排気トップセット工事説明書

この製品を安全に設置・使用していただくため、下記のことを必ずお守りください。これらの項目は安全に関する重要な内容です。表示と意味は次の通りです。

表　示	意　　味
⚠ 危険	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示は本製品を安全・快適に使うため是非守って設置工事をしていただきたい事柄を示しています。

絵表示については次のような意味があります。

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。△の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。⃠の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。

● 記号は行為を強制・指示する内容があることを告げるものです。●の中や近くに具体的な強制・指示内容が描かれています。

⚠ 危険

屋内に排気させない

- 排気口が屋外に位置するように設置してください。また、この排気筒トップ周辺に囲い(波板等)や障害物は設置しないでください。一酸化炭素中毒や火災の原因となり、大変危険です。

⚠ 警告

正しい工事をする

- この説明書と機器本体の設置工事説明書、「ガス機器の設置基準及び実務指針（日本ガス機器検査協会刊）をよくお読みになり、正しく設置工事を行ってください。この説明書及び機器本体の設置工事説明書に記載されている方法以外の方法による設置工事が原因で生じた事故及び損傷、人身事故等は設置工事者の責任となります。
- 燃焼機器を設置する際は、建築基準法や火災予防条例に定める耐火処置等に適合する必要があります。また、当該地区の市町村等の火災予防条例にも従ってください。

特監法対象品です

- この製品は、「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」（特監法）の対象品です。この製品の設置工事は、ガス消費機器設置工事監督者が行なうか、その監督のもとに行い、工事終了後は法律で定められたラベルを指定された箇所に貼ってください。

設置工事は専門の資格者が行う

- 機器本体及びこの製品の設置工事には専門の資格・技術が必要です。設置工事は必ずお買い上げの販売店に依頼し、お客様自身での設置工事は絶対に行わないでください。思わぬ事故の原因となります。

機器本体の適合性を確認する

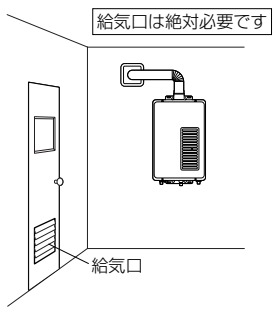
- この製品は、適合する機器本体にのみ使用できます。この製品と機器本体、および使用する排気筒との適合性を確認してください。

1．設置場所の確認

⚠ 注意

給気口について

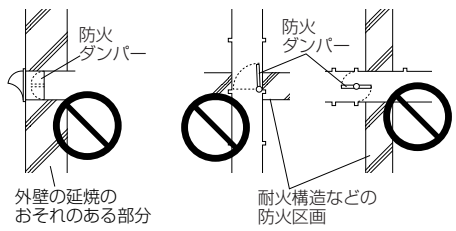
- 給気口は必ず設けてください。
- 給気口は外気に通じたところに開口していることが必要です。
- 機器１台当りに最低必要な給気口の有効開口面積は、排気筒の断面積と同一です。なお、ガラリ等は実状に応じて開口率を考慮し、有効面積を算出してください。
- ガラリ開口部はほこりなどで詰まらないように最小隙間 8mm 以上とし、防虫網は清掃ができるものにしてください。



排気筒トップについて

- ガソリン・ベンジン・接着剤などの引火性危険物を扱う場所、アンモニア・塩素・硫黄・酸類などの腐食性ガスの発生する場所には設置しないでください。爆発や火災の原因になり危険です。
- 排気筒トップは、十分に開放された屋外空間、燃焼排ガスの滞留しない空間を有する開放廊下または、バルコニーなどに取り付けてください。
- 排気筒トップ周辺に燃焼を妨げる囲い（波板等）または障害物等は、絶対に設置しないでください。
- 防火区画の貫通は避けて排気筒の経路を決定してください。
- 排気筒には、防火ダンパー等は絶対に取り付けないでください。

防火ダンパーの取付禁止例

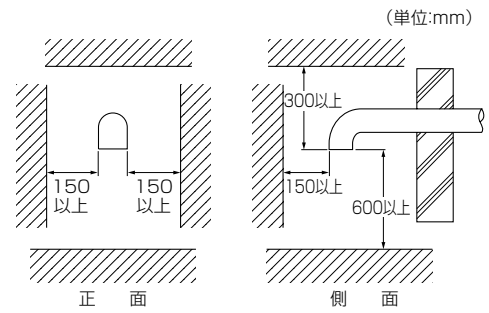


- 排気筒は、必ず指定されたものを使用してください。
- 機器を設置する場所から排気筒トップまでは、機器本体の工事説明書を参照の上、所定の延長距離内に取り付けてください。
- 積雪で排気筒トップが塞がれるおそれがあるときは防雪の処置を行ってください。また落雪により排気筒トップが変形するおそれがある場合も、変形しないような処置を行ってください。なお、いずれの場合も排気筒の設置基準を必ず守ってください。
- 排気筒トップの先端から水蒸気（煙りのようなもの）や水滴が出ることがあります。排気筒トップは水蒸気が見えにくい場所、水滴落下に支障のない場所を選んで設置してください。

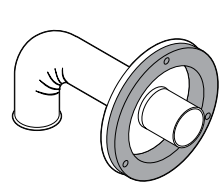
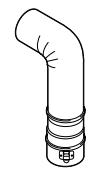
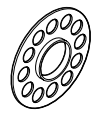
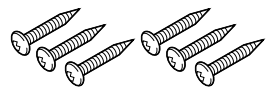
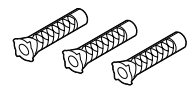
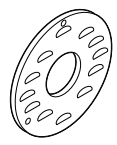
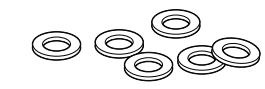
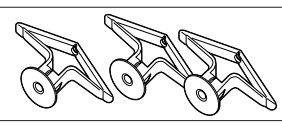
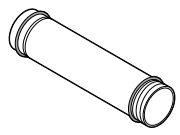
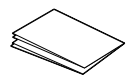
⚠ 注意

排気筒トップの離隔距離

- 排気筒トップの開口部と周囲の「不燃材料以外の材料による仕上げをした建築物等の部分」とは、右記の離隔距離をとってください。また、右記に定める範囲を壁面に投影した範囲内（排気筒トップ開口部から600mm 以上離れた部分を除く）に、燃焼排ガスが室内に流入するおそれのある開口部がない場所に設置してください。

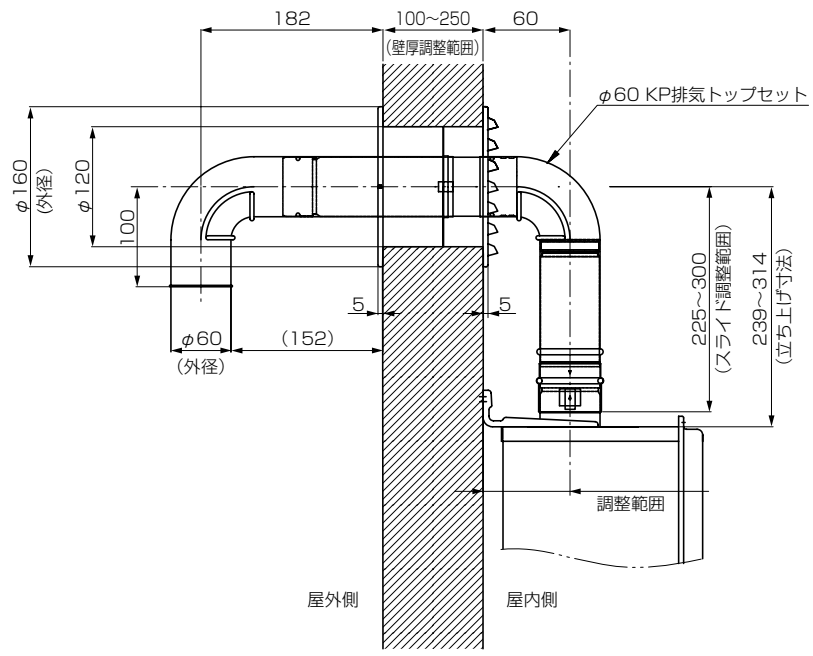


2．同梱部品の確認

部品名	形　状	個数	部品名	形　状	個数
トップ本体（パッキン付）		1	接続スライドエルボ		1
スペーサーフランジ		1	木ねじ M4.5 × 30		6
			木ねじプラグ 10 × 32		3
室内化粧プレート		1	平座金 M5 × φ 10		6
			樹脂プラグ		3
スライド内管		1	工事説明書		1

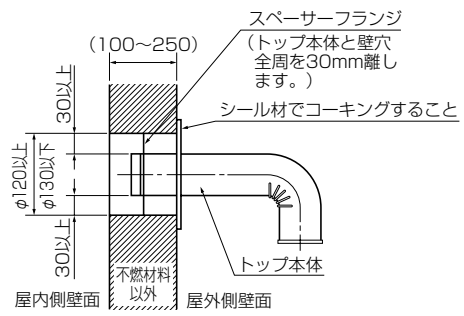
3．排気トップセットの設置概要

- φ 60 KP 排気トップセットの製品仕様は以下の通りです。

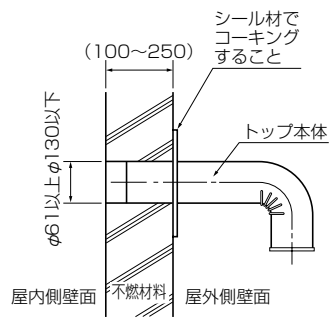


- 設置可能な壁厚については、次項「4．機器本体と排気トップセットの接続寸法」および、機器本体の設置工事説明書を参照してください。
- 機器本体から排気筒トップを取り付ける壁穴の中心位置までの立ち上げ寸法は、239 ～ 314mm です。この範囲を超える場合は、立ち上げ用に延長用φ 60 排気部材が必要です。
- 壁穴の直径は、不燃材料以外の場合はφ 120 ～ 130mm、不燃材料の場合はφ 61 ～ 130mm です。

■ 不燃材料以外の場合



■ 不燃材料の場合

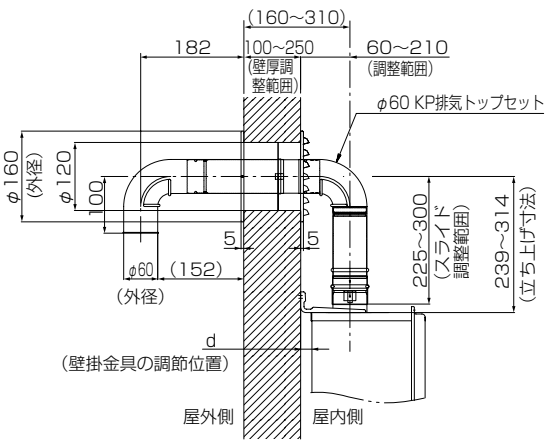


4．機器本体と排気トップセットの接続寸法

- 機器をφ60 KP排気トップセットを使って接続する方法は、①直出接続、②延長接続の２通りの方法があります。
- 機器からの立ち上げ寸法は239～314mmです。
- 別売の直管等を使用すれば、立ち上げ寸法を高くできます。
- 壁厚が100mm未満、あるいは250mmより大きい場合には、φ60 KP排気トップセットは使用できません。

（1）直出接続

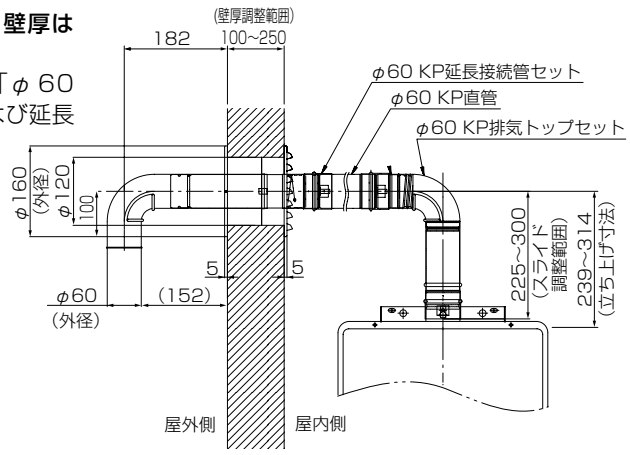
- 機器と排気トップセットを直接接続する方法です。
- 直出接続は、φ60 KP排気トップセットのみで機器を設置できます。
- **直出接続の場合、設置できる壁厚は基本的には100～250mmですが、機器本体・機器本体に付属の壁掛金具の調節可能範囲により、設置できる壁厚が制限されることがあります。詳しくは、機器本体の設置工事説明書を参照してください。**



※d≧10ですが、その最大寸法は取り付ける機器により異なります。

（2）延長接続

- 排気筒トップに、延長用に排気筒を接続したうえで機器を接続する方法です。
- **延長接続をすることができる壁厚は100～250mmです。**
- 排気延長する際は、別売の「φ60 KP延長用接続管セット」および延長用各種排気筒が必要です。

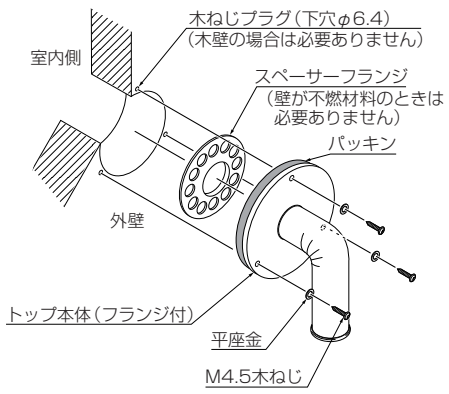


5．排気筒トップ・排気筒の取り付け方法

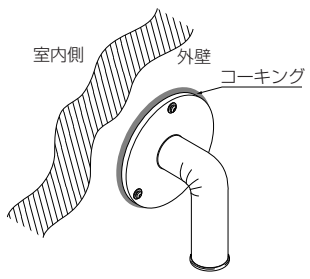
（1）トップ本体の取り付け

①壁が不燃材料以外の場合、トップ本体に、スペーサーフランジを入れます。スペーサーフランジで、トップ本体と壁穴全周が30mm離れるようにします。壁が不燃材料のときはスペーサーフランジは必要ありません。

②屋外側よりトップ本体を壁穴に差し込んで固定します。
壁穴とトップ本体の中心を合わせます。
- 木壁の場合……木ねじ（M4.5×30）で３カ所止める。
- コンクリート壁の場合……木ねじプラグ（下穴φ6.4）・木ねじ（M4.5×30）で３カ所止める。



③トップ本体のフランジと壁の隙間を、雨水などが侵入しないようにシール材で完全にコーキングします。



（2）機器との接続

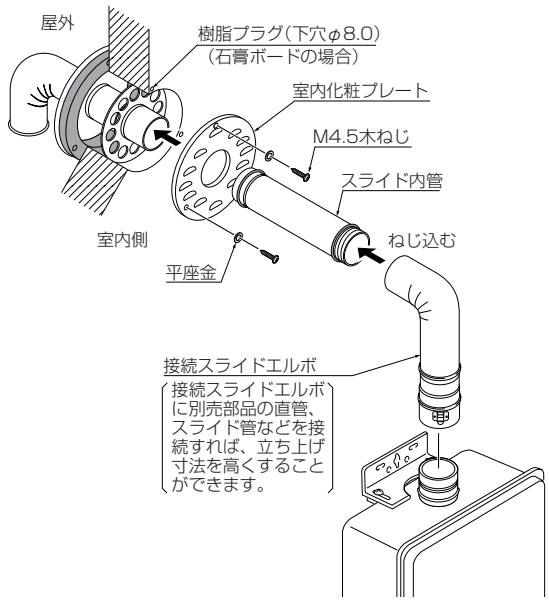
■ 直出接続

①スライド内管を接続スライドエルボにねじ込み固定します。（完全にねじ込めなくなるまで回転させる）

②スライド内管（接続スライドエルボ付）に室内化粧プレートを取り付け、トップ本体に差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込みます。

③室内化粧プレートを、上下を合わせて壁面に固定します。
- 木壁の場合……木ねじ（M4.5×30）で３カ所止める。
- 石膏ボードの場合……樹脂プラグ（下穴φ8.0）・木ねじ（M4.5×30）で３カ所止める。

④接続スライドエルボを機器の排気接続口に接続します。
別売部品の直管・スライド管を接続すれば立ち上げ寸法を高くすることができます。

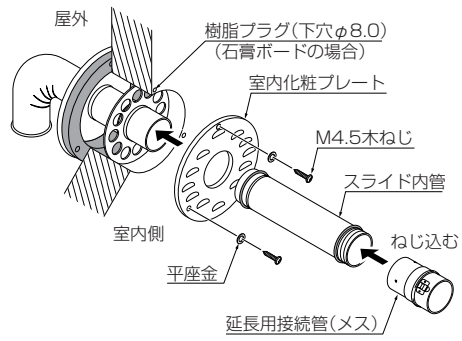


■ 延長接続

①スライド内管をφ60KP延長用接続単管メス（別売）にねじ込み固定します。（完全に回せなくなるまでねじ込みむ）

②スライド内管に室内化粧プレートを取り付けてトップ本体に差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込みます。

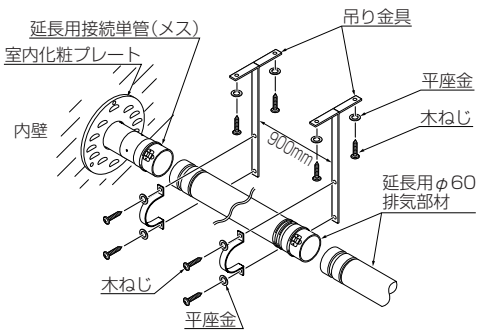
③室内化粧プレートを、上下を合わせて壁面に固定します。
固定方法は「■ 直出接続」を参照してください。



④別売のφ60排気部材を組み合わせ、針金等で仮止めしながら順次接続します。排気筒は約900mm間隔で別売の吊金具を用いて固定します。

KP管の排気筒を使用する場合
排気筒を接続するときは、ストッパービードにあたるまで完全に差し込んで（約50mm程度）ください。差し込んだ後、パイプが抜けないことを確認してください。

ONJ管の排気筒を使用する場合
排気筒を接続するときは、「カチッ」と音がするまで完全に差し込んで（約50mm程度）ください。差し込んだ後、パイプが抜けないことを確認してください。



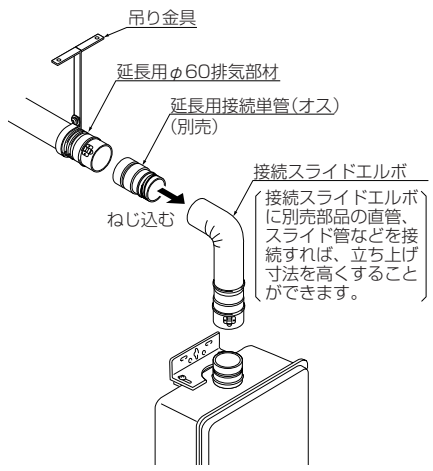
⚠警告

- 各排気筒は必ず当社別売のφ60KP管またはφ60 ONJ管を使用してください。
- φ60KP管・φ60 ONJ管は、絶対に切断しないでください。切断すると排気漏れの原因となります。
- 排気筒の各接続部は、KP管の場合はストッパービードにあたるまで、ONJ管の場合は「カチッ」と音がするまで、完全に差し込んでください。接続が不十分だと排気が漏れ、一酸化炭素中毒の原因となります。

⑤φ60 KP延長用接続単管オス（別売）を接続スライドエルボにねじ込み、固定します。

⑥φ60KP 延長用接続単管オスを排気筒に接続します。

⑦接続スライドエルボを機器の排気接続口に接続します。
別売部品の直管・スライド管を接続すれば立ち上げ寸法を高くすることができます。

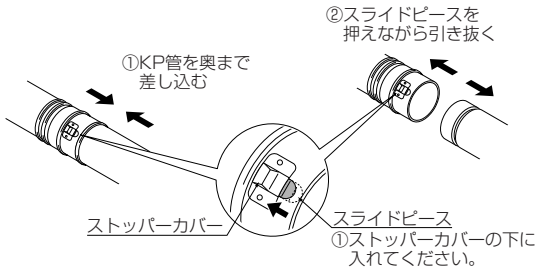


（3）表示ラベルの貼付

- 表示ラベルに必要事項を記入し、指定された箇所に貼ってください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事事業者の氏名又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び施工年月日	年　月　日

KP管の外し方

①KP管をしっかり差し込み、スライドピースをストッパーカバーの下に入れてください。

②スライドピースを、動かないようしっかりと指で押さえた状態で、KP管を引き抜きます。